

小倉南防犯通信

自分は大丈夫と思っていませんか？ ～住宅編～

発行
2021年 1月
小倉南警察署
生活安全課

家に着いたからといって安心してはいけません。

----- 犯人の声・・・ -----

「ピンク色のカーテンの部屋は女性の一人暮らしだと、一目瞭然。」

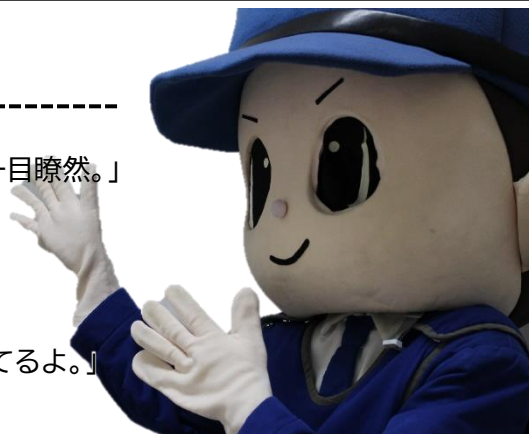
「アパートの最上階でも登ることは簡単。」

油断して窓を開けている女性はいないかな～。」

「10軒に1軒は、必ず鍵が開いてるよ。」

「玄関を覗いてみて、男物の靴や傘があったらあきらめてるよ。」

「防犯カメラのある物件は大嫌い。」



エレベーターでは、周囲を見渡せて、非常ボタンがすぐに押せる場所に立とう。



知らない人が一緒に乗ってきたときは、エレベーターを譲り、一旦エレベーターから降りる勇気も大切だよ。

玄関ドアを開けた瞬間を、犯人は狙っています。玄関ドアを開ける前に、一度周囲を確認しましょう。室内に入ったら、靴を脱ぐ前にすぐ施錠！



女性の一人暮らしを連想させないよう、特に外から見えるところに男物の下着を干す、玄関に男物の靴や傘を置く、カーテンは性別が分かりにくいものを選ぶなど工夫を心掛けましょう。



毎日どこかで性犯罪は発生しています。「自分は大丈夫」と思わずに、日ごろから防犯意識を持つことが大切です。

